

スウェーデンマルメ研修
竹内歯科医院 長岡紫乃

今回のマルメ研修で私自身のこれからの歯科衛生士人生をどう歩んでいくのか教えられた気がします。

そしてスウェーデンの歯科医療哲学を著書や人から聞くのではなく自身の肌で感じながら学べたことに大変感謝しています。

スウェーデンと日本の歯科衛生士では C、P の診断、Xray 撮影などできることに差はありますが「患者教育」に関して同等の責任があり使命があると改めて感じました。来院している患者さんに対していかに口腔健康の価値を伝えられるか OP の歯科衛生士は歯科医師よりも患者さんに接する時間が多いためその役割は大きいと思います。

ライセンスを持つプロとしてあるために自分にはまだまだ知識が不足していることも痛感しました。サリバテストで菌や緩衝能の判定の仕方 1 つにしてみても検査を担当した者によって結果が異なることは極力なくしていくこと。カリオロジー、ペリオドントロジー、カリオグラムなどを何度も見直して熟読し「だいたい」「このくらい」などあいまいなものを 1 つずつ消化していき根拠ある説明ができるようにしていきます。

今回肌で感じ得たものを自分の中だけに留めておかず医院すべてのスタッフに共有していきたいです。患者さんを健康に導くために受付、歯科助手、歯科技工士、歯科衛生士、歯科医師は 1 つのチームであることを意識として根付かせていきます。

これからも患者さんに寄り添い良きパートナーとなれるよう一生懸命取り組んでいきます。そして結婚、出産をしても私は生涯歯科衛生士という職を続けていきたいと思っています。